



一本道

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

西小学校通信 No.37

令和7年3月12日

校長 吉田憲一

1 「ワレモコウの会」、月1回の不登校等の支援会議

2月26日、「ワレモコウの会」を行いました。「ワレモコウ」とは花の名前で、細い茎の先に赤や紫の小さな花がいくつも集まって丸みのある細長い形になっている少し珍しい花です。花言葉はその小さな花が上から順番に咲き、時間とともに全体の色が変わっていくことから「変化」や「感謝」という前向きな意味があります。

さて、ワレモコウの会とは、不登校・不登校傾向・登校渋り等の児童（始めは11人で、現在14名）の支援会議です。職員23人を4つのグループに分け、月1回、下の写真のように、放課後の約20分間、支援の協議をしています。協議内容は、「①不登校児童等の今月短期目標の振り返り」と「②来月の短期目標の設定」の2つです。



全国の小中学生の不登校児童は11年連続で増加しており、小学校では10年前の5倍に増加しています。本校でも、学校の課題の1つとしてとらえ、解消に向けて取り組んでいるところです。その1つがこの「ワレモコウの会」です。「本人の自走」が一番の目標ですが、それができないから悩んでいると思うのです。「本人の自走」をプラス的に後押しすることが必要だと考えています。それが、この「短期目標の設定」です。担任一人ではなく、教育のプロである私たちがチームで対応を協議するのです。その際には、保護者との連携や関係機関と

連携が大切になることも多くあります。

今月の短期目標に向かって一歩ずつ進めている子供、新しい対応を試してチャレンジしようとしている子供、対応がうまく合わなくて前に進めていない子供等様々です。私たちは、265名一人ひとりの子供にとって、西小学校が「学びがいがあり、生活しやすい学校」であるとともに、「元気と挑戦で成長する学校」であることを、最上級の目標に掲げています。学校での友達との触れ合いや学び合いを通して、すべての子供が、今日の学校での一日を、成長する機会にしていってほしいと強く願っています。

2 お別れ集会で見た西小の「伝統」とは？

3月7日、1・2時間目に、体育館でお別れ集会を行いました。5年生の企画委員会が計画・運営してくれました。「各学年の出し物」や「6年生との最後の交流タイム」と実に盛りだくさんでした。また「引継ぎ式」で校旗を6年生から5年生に渡すときに「西小の伝統を引き継いでください。」との言葉がありました。この集会の中で、見た西小の伝統を2つ紹介します。1つは「ひねり出す力」で、もう1つは「盛り上がる力」です。たくさんのアイデアをひねり出し、たくさんの笑いがあり、とっても盛り上がっていました。笑うから元気になり、笑うから幸せになります。この伝統をずっと引き継いでほしいです。

下の写真は、1年生の出し物「パプリカ」の踊りをみんなで踊っている場面です。

